

◆ ゆまに学芸選書 ULULA 8 ◆

売春と社会のパラドックスに
生きた全国各地の遊女たちの
実像に迫る。

「不義にして義あり、不道にして道あり」
(藤本箕山『色道大鏡』) —— 太夫から飯盛女まで、各地の遊女一人ひとりの知られざる生涯に光をあて、新しい遊女研究への視座を提示する。

ゆまに学芸選書
ULULA
8

江戸遊女紀聞

売女とは呼ばせない

● 著 ● 渡辺憲司

立教新座中学校・高等学校校長 立教大学名誉教授

● 定価 1,890円 (本体 1,800円)

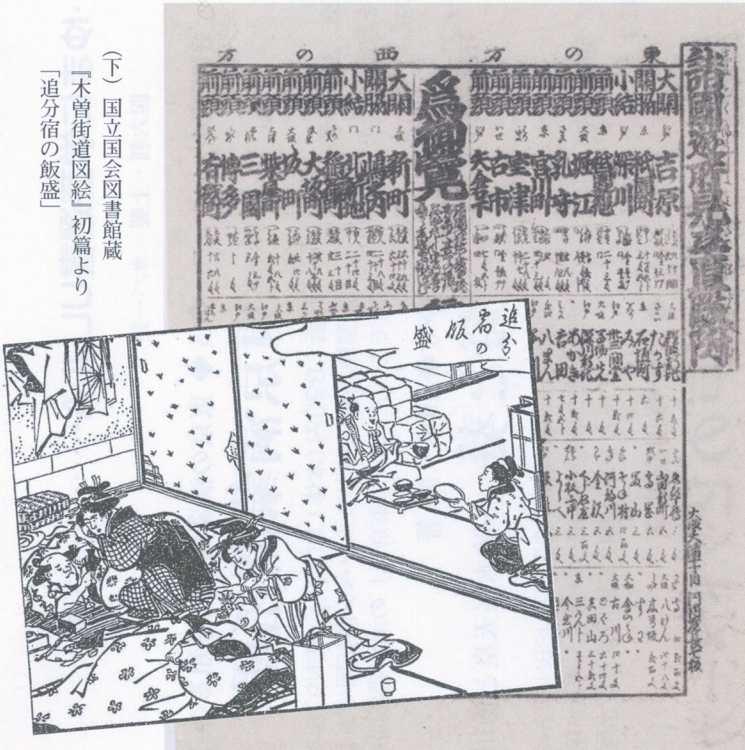
四六判 / 上製力バー装
ISBN978-4-8433-3943-5 C1321

2013年
1月刊行

※ULULA：ラテン語で「フクロウ」のこと。

ゆまに
書房 YUMANI SHOBUN

http://www.yumani.co.jp
〒101-0047 千代田区内神田2-7-6
TEL.03(5296)0491
FAX.03(5296)0493



(下) 国立国会図書館蔵
「木曾街道図絵」 初篇より
「追分宿の飯盛」

※申込締切(2013年1月19日)後は、返条付き注文にても承ります。

● 広告予定 ● 全国紙、地方紙、雑誌など。

申込書 (貴店印)	申込締切 1月19日	部	[郵] 渡辺憲司	定価 1,890円 本体 1,800円 + 税5%	ゆまに書房 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-6 TEL.03(5296)0491 FAX.03(5296)0493	年 月 日
	新刊委託	部	ゆまに学芸選書 ULULA 8 江戸遊女紀聞 — 売女とは呼ばせない —			
		部	ISBN978-4-8433-3943-5 C1321			

●……………ゆまに学芸選書ULULA……………●

四六判・上製・カバー装

◆1◆ 磯崎康彦 著

好評発売中

松平定信の生涯と芸術

定価1,890円(本体1,800円) ISBN978-4-8433-3468-3 C1023 30歳の若さで老中首座に就任、寛政の改革を行った松平定信。その生涯を政治面ばかりではなく、多才な芸術面にも光をあてた新たな松平定信伝の試み。

◆2◆ 田代和生 著

好評発売中

新・倭館 —鎖国時代の日本人町

定価1,890円(本体1,800円) ISBN978-4-8433-3612-0 C1321 鎖国時代、もう一つの長崎・出島があった。日朝交流史と釜山の日本人町に生きた人々の克明な生活記録。江戸期、貿易・外交の最前線を活写。

◆3◆ 青木 健 著

好評発売中

江戸尾張文人交流録

—芭蕉・宣長・馬琴・北斎・一九

定価1,890円(本体1,800円) ISBN978-4-8433-3613-7 C1391 芭蕉・宣長・馬琴・北斎・一九といった江戸時代の代表的文人は、尾張・名古屋とどのように関わりあったのか。東海地方と江戸との文人交流、当時の出版文化をたどる。

◆4◆ 志村和次郎 著

好評発売中

富豪への道と美術コレクション

—維新後の事業家・文化人の軌跡

定価1,890円(本体1,800円) ISBN978-4-8433-3614-4 C1370 日本の事業家たちは如何にして巨万の富を成し、自らの財を美術品蒐集の名で世に還元したのか? その知られざる事業家たちの秘話に迫る。

◆5◆ 東京の満蒙開拓団を知る会 著

好評発売中

東京満蒙開拓団

定価1,890円(本体1,800円) ISBN978-4-8433-3940-4 C1321 本格的な満蒙開拓団は東京のルンペン開拓団であり、最後の開拓団も東京の疎開開拓団であった……。「東京発」の満蒙開拓団を追った市民による歴史研究。

◆6◆ 田中 剛 著

好評発売中

菊と葵 —後水尾天皇と徳川三代の相克

定価1,890円(本体1,800円) ISBN978-4-8433-3941-1 C1321 天下人・家康が挑む朝廷の権威への介入。秀忠の娘和子入内、女帝誕生……、三代にわたって圧力をかけ続ける徳川家と後水尾帝の抵抗とを諸史料でたどる。

◆7◆ 津川安男 著

好評発売中

江戸のヒットメーカー

—歌舞伎作者・鶴屋南北の足跡

定価1,890円(本体1,800円) ISBN978-4-8433-3942-8 C1323 大田南畝や山東京伝、式亭三馬ら同時代の戯作者たちや社会との関わりの中で、虚構と現実を織り交ぜてヒット作を量産した南北の巧みな戯作術を探る。

◆8◆ 渡辺憲司 著

2013年1月刊行

江戸遊女紀聞 —売女とは呼ばせない

定価1,890円(本体1,800円) ISBN978-4-8433-3943-5 C1321

※刊行予定が一部変更になりました。ご了承くださいませようお願い申し上げます。

●以下続刊●……………

美術のポリテクス (仮題) —「工芸」ジャンルの成り立ちを焦点として 北澤憲昭 著
藤沢周平と江戸の浮世絵師 青木美智男 著